

2025.7.5

2025ニセコ高校DXハイスクール について

北海道ニセコ高等学校
校長 本谷 一

ニセコ高校DXハイスクールの特色

- ・情報教育やデジタル教育の充実にとどまらない**学校づくりのエンジン**
- ・「シビックプライドを持ったグローバル人材の育成」という**最高目標を達成するための取組**
- ・**起業家教育と国際教育を一体的に推進**
- ・**国内外の大学や企業**と連携した探究活動
- ・**LEAFシステム**を活用した個別最適な学びの実現
- ・**主体的で自律的な学び**の重視



説明資料ダウンロード

現状・課題

本校の育てたい生徒像である「**シビックプライドを持ったグローバル人材**」になるためには、様々な分野の基礎的な知識を身に付けた上で、**語学力、コミュニケーション能力、異文化理解の精神と、数理・データサイエンス・AIに関するリテラシー**を習得して**「文理複眼」的な思考**を身に付け、不確実で予測困難な時代において複雑化する**地域課題をグローバルな視野で探究し、解決できる資質・能力**を身につける必要がある。

シビックプライドを持ったグローバル人材

地域に対して誇りや深い思い入れをもち、世界とのつながりを意識しながら、自分自身が関わって地域を良くしていこうとする自負心を持つ人

長期的目標

高校版MBA
デジタル分野の人材や
グローバルな視野を持つ起業家の育成

「シビックプライドを持ったグローバル人材」の育成

複雑化する地域課題を
グローバルな視野で解決できる資質・能力の育成
大学進学・理系進学の増加

全ての生徒が「AI×他分野」の
グローバルで文理横断的な学び

AI等を活用した
国際教育・起業家教育

授業で学んだことを活かして、
自律的に考え挑戦する機会を
創出

一人称での経験の中での疑問
や気づきが学びの効率を高める

放課後スタートアップ
「Stars UP」
試行錯誤の中で失敗も含めて学ぶ

特長的な取組

起業家教育と国際教育の一体的推進

データやAIを活用して世界とのつながりを意識した地域課題解決

1年生の農業と環境と2・3年生の課題研究で、データやAI等を活用しながら国際基準（国際認証）を踏まえて地域課題を探査し、課題解決する起業家教育を実施

放課後Stars UPとNISEKO World Villageによる起業家精神と国際性の育成

高性能なデジタル機器を活用して、地域や企業の方のサポートで実在する課題解決に挑戦する課外活動「放課後 StarsUP」と地域の子どもや外国人の方と交流する国際交流拠点「NISEKO World Village（英語村）」を生徒が主体的に運営し、起業家精神と国際性を育成

Wellbeing Summit-高校生国際会議-

タイ・台湾・日本の3カ国の高校生による未来への提言

「人々が幸福を実感できる持続可能な社会づくり（仮題）」をテーマに、国内外の高校生が、多言語でプレゼンテーションとディスカッションを行う。運営は、生徒が主体となって行い、SDGs、経済、地域などの観点から、未来に向けた提言を実施

育成する生徒像・取組による効果

「国際基準を踏まえた持続可能な地域づくり」をリーダーとして推進することができる人材を育成する。その人材は起業家精神に富み、語学力やコミュニケーション能力に優れ、異文化理解の精神を身に付けた様々な分野で活躍できる人材と定義する。本取組において起業家教育と国際教育を一体的に推進することにより、データやAIを活用し、グローバルな視野を持って社会課題を解決できる力を身に付ける。

国内外の大学等と連携したグローバルな探究活動

マレーシアの企業と連携した海外研修やインターンシップ

2年生と4年生の課題研究で、マレーシヤYTLグループの経営するホテル専門職大学やリッツカールトンホテルで研修やインターンシップを実施

台湾の大学と連携したフィールドワークやデータ・AIを活用した学習プログラム

1年生のビジネス基礎と2・3年生の課題研究の発展的な学習として、台中科技大学で 現地学生とともにフィールドワークを実施
データやAIを活用する学習プログラム及び大学・台湾企業と連携した学習プログラムを実施

麗澤大学が実施する「International Humanitarian Mapathon」への参加

1年生の農業と環境と2・3年生の課題研究の発展的な学習として、希望する生徒が麗澤大学工学部が実施するワークショップ「International Humanitarian Mapathon」に参加し、世界の困っている人々のためのデジタルマップ作成や過去の災害発生場所の可視化について、多くの国の若者とともに多言語で取り組む。

取組と年度ごとの到達目標①

| 取組 | 年度 2025 農業科 | 2026 1年総合学科 2年3年農業科 | 2027 1年2年総合学科 3年農業科 | 2028 総合学科 |
|--------------------------------------|---|--|---------------------------|--------------|
| 教育課程の工夫・改善 | <p>文系大学進学に対応する教育課程 大学や連携校の遠隔授業を単位認定する規定検討・作成 海外留学に関する規定の整備と支援</p> | <p>総合学科に「環境科学系列」を設置し理系大学進学を実現 全生徒が数理・データサイエンス・AIに関する科目を選択可能 2028年度には、大学理系学部進学率30%程度、海外留学と海外大進学を合わせて10%程度</p> | | |
| 探究の充実 (小樽商大・麗澤大学・台中科技大学等との連携) | <p>ビジネス基礎、農業と環境、課題研究等で、 データや生成AI等を活用し、地域課題をグローバルな視野で探究し解決する国際教育・起業家教育の企画・実施</p> | <p>総合的な探究の時間等において、AI等を活用して地域課題をグローバルな視野で探究し解決する起業家教育の実施</p> | | |
| デジタル環境整備と活用 | <p>ホームルーム教室のプロジェクトへのワイヤレス接続を実現し、アクティブ・ラーニング環境を充実 多目的ホールに大型スクリーン・プロジェクタ・袖付き椅子を導入し、「小樽商大サテライト」の環境を充実 「StarsUP Base」にMacbookproや<i>iPad</i>とAdobeの高機能アプリを導入し、デジタル環境を充実</p> | <p>デジタルを活用した個別最適な学習やアクティブラーニングの実現 探究活動での高性能な機器や高機能なアプリを活用したデジタルコンテンツの制作 「StarsUP Base」での自律的なデジタルプロダクト開発</p> | | |

取組と年度ごとの到達目標②

| 取組 年度 | 2025 農業科 | 2026 1年総合学科 2年3年農業科 | 2027 1年2年総合学科 3年農業科 | 2028 総合学科 |
|---------------------------------|---|--|---|--------------|
| 数理・データサイエンス・AIに関する学習（大学や高校との連携） | <p>国内外の連携大学・企業における数理・データサイエンス・AIに関する学習プログラムを試行実施</p> <p>連携高校との遠隔授業を施行</p> | <p>連携高校の遠隔授業の試行実施と課題解決</p> <p>連携大学の数理・データサイエンス・AIに関する授業受講の試行</p> | <p>連携大学の数理・データサイエンス・AIに関する科目の受講と単位認定</p> <p>連携高校の情報Ⅱ等の数理・データサイエンス・AIに関する科目のオンライン受講と単位認定</p> | |
| 学習履歴のAI解析による個別最適な学び（京大との連携） | <p>LEAFシステムを数学・英語で活用研究</p> <p>Tammyを英語で活用研究</p> | <p>LEAFシステム等を数・英・国・地歴公民・理科でも活用研究</p> <p>Tammyを英語で活用研究</p> | <p>LEAFシステムの複数教科での活用</p> <p>Tammyの英語科での活用</p> | |
| 発展的な起業家教育（地域人材・専門学校・企業等との連携） | <p>地域人材・専門学校・企業等の支援による小中学生も参加可能な「Stars UP」の運営</p> <p>プログラミングやビジネスに関するコンテスト等への挑戦を支援</p> <p>高校生国際会議を連携高校と協働して企画・試行実施</p> | | <p>他校の起業クラブ等と協働する「起業甲子園」の企画・実施を支援</p> <p>高校生国際会議を連携高校と協働して企画・実施</p> | |

取組と年度ごとの到達目標③

| 取組 年度 | 2025 農業科 | 2026 1年総合学科 2年3年農業科 | 2027 1年2年総合学科 3年農業科 | 2028 総合学科 |
|-------------------------------|---|--|---------------------------|--|
| 教員研修 (Googleとの連携) | 外部講師によるAI活用研修の企画・実施 （全員） Life is Tech!によるAI活用キャンプ[®]への参加 （毎年4名） 英作文学習用AI「Tammy」の導入と研修 | | | 校内でのAI活用研修 (起業家教育、LEAFシステム、英作文学習用AI) |
| ニセコスタイルの教育 | 「ニセコスタイルの教育」推進委員会と連携した幼稚園・小中学校教員対象のAI活用研修の企画・実施 幼稚園・少中高校の探究学習や英語学習の接続（NISEKO World Villageの活用含む） | | | |
| 地域社会人教育 (小樽商大サテライト) | 大型スクリーン・プロジェクタ・袖付き椅子等の サテライト環境の充実 小樽商大、地域企業、自治体等による 「コンソーシアムニセコ」 の設置 | 卒業生を含む 地域社会人の夜間主コースへの進学とサテライト授業の実施 地域住民が高等教育を受ける機会と場の提供 | | |

2025ニセコ高校DXハイスクールレイヤー



準備



- データや生成AIを活用した国際教育・起業家教育の計画（台中科技大学・小樽商大と連携）
- 「Stars UP」の新体制構築（校内体制の構築、地域講師と連携）
- AIを活用したLEAFシステムとTammyの利用環境整備（京大 + 内田洋行と連携）
- 国内外大学と連携した国際的な学習プログラムの計画（麗澤大・台中科技大学との連携）

ニセコ高校DXハイスクール 2025-2026タイムライン

ステージ0
2025年3月～

ステージ1
2025年4月～

International Humanitarian Mapathon参加
(麗澤大 4/23・30)

ステージ2
2025年6月～

ニセコ高校DXハイスクール実践発表会
(7/5)

ステージ3
2025年8月～

種まき

- AIを活用した国際教育・起業家教育開始（小樽商大・麗澤大・台中科技大学と連携）
- Stars UPガイダンスとWorld Village開村
- LEAF・Tammyの活用研究スタート（京大 + 内田洋行と連携）

水やり

- Stars UP・World Villageの活動充実（大学・連携高・専門学校との連携）
- 幼小中教員向けAI活用研修実施
- 実践発表会でLEAF公開授業、探究（起業家教育）生徒発表、World Village生徒発表等を実施

おひさま

- 地域小中学生向けイベント（多言語による交流、生成AI体験など）（地域人材、専門学校等と連携）
- ニセコ高校教員向けAI活用キャンプ（Life Is Tech! 研修に参加）
- 連携する大学や高校の遠隔授業を単位認定する校内規定の検討・策定

ステージ6
2025年12月～

高校生国際会議開催
台湾の大学・企業と連携したフィールドワーク・AIワークショップ

木になる

- ニセコ高校活動報告会で生徒発表（国際教育・起業家教育、World Village・Stars UP）

ステージ5
2025年10月～

DXハイスクール運営指導委員会
・実施状況等に関する評価
・LEAFシステム等の活用に関する指導

ステージ4
2025年9月～

苗のそだち

- 高校生国際会議における情報交流（台中科技大学高専・タイのサイパンヤーランシット校・麗澤高・京都日吉ヶ丘高・品川女子高など）

苗うえ

- Stars UPのCEOの個人活動や希望者のコンテスト参加（企業や地域人材と連携）
- World Villageシーズンイベント実施

2026-2027の展望

- 新校の総合的な探究の時間におけるデータやAI等を活用した国際教育・起業家教育の実施
- 連携高による情報Ⅱの遠隔授業実施体制の確立
- プログラミングに関するコンテストへの出場

ステージ7
2026年2月～

実り

- 運営指導委員会の開催（成果のまとめと評価、次年度に向けて）
- 次年度の推進体制構築及び次年度計画の作成